国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022-2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト
http://k-rc.main.jp/

第14回　2022年10月20日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆さん、こんにちは。去る15日に猪苗代湖の水草の清掃事業がございました。当クラブからは私と橋本幹事、平松副会長、初瀬ガバナー補佐が参加致しました。それから保土ヶ谷化学工業の武居郡山工場長以下、20名の職員も参加しまして、総勢300人弱の人々が集まって頂きました。凄い水草が流れ着いておりまして、それを取るのも一苦労でした。郡山RCでは事業参加を強制しておりませんが、1時間ぐらいの清掃後に美味しい新蕎麦でも食べて来る形で毎週やっておりますので、ご興味のある方は参加して頂ければと思います。

昨日、第2回のゴルフコンペをグランディ那須で行いました。21名の参加を頂きまして、快晴の中楽しくゴルフをやって参りました。来月、今年度最後のゴルフ大会が矢吹ゴルフ倶楽部で行われますので、是非参加をして頂きたいなと思います。

来週は再発会記念日例会で夜の例会になります。10月の再発会例会は郡山RCが昭和25年10月30日に再承認されたことを記念して夜の例会を行います。

昭和11年に創立した後、昭和14年頃から日米関係の悪化に伴い、ドイツやイタリアなどが国の弾圧でRCを解散されるという事態になっておりました。日本ロータリーも弾圧される前に一時国際ロータリーを脱会して、ロータリーの精神・組織をそのままに別団体を作る方が良いという決議がありまして、昭和15年に国際ロータリーを離脱致しました。ただ郡山RCは名称を郡山金曜会という形に変えただけで、例会等は以前と同じ活動をしておりました。この頃は会員数が120名を越える大きな団体で活動しておりました。戦後、早急に国際ロータリーに復帰すべきという主旨で、東京RCが中心となりまして各クラブに呼びかけ、昭和22年ロータリー復帰協議会を設立しまして、昭和24年に主要な都市の7クラブが復帰致しました。郡山RCは昭和25年東京クラブの指導の下、RIに郡山シティ RCの名称で書類を提出致しまして、発会式を昭和25年10月22日に郡山商工会議所の大広間で盛大に行われまして、10月30日に戦前の登録番号3992を頂いてRIより承認されたということで、再発会という形になっております。RIの加盟復帰承認というのはこの年の12月で打ち切られました。それ以降の復帰クラブは新設クラブとなりまして、残念ながら戦前の記録は無しということになっておりましたので、郡山RCは10月30日に再登録ができて良かったなと思っております。

幹事報告

橋本　勝 幹事

来週の例会は再発会例会がありますので、間違わずに18時より行いますので、宜しくお願いします。来月3日は文化の日で休会となります。また次の週は地区大会がございますので、11月10日は移動となります。昨日ゴルフコンペがございまして、大変申し訳ないんですが私が優勝してしまいました。ただタラバガニを頂きましたので、今日家族で美味しく頂きたいと思います。

親睦活動委員会報告

前田宏一 委員

昨日、第2回郡山RCゴルフコンペが開催されました。優勝は橋本勝幹事、準優勝は鈴木淳策さんです。天気にも恵まれて、楽しくプレーできたと思います。次回は11月15日㈫、矢吹ゴルフクラブになります。集合が7時、スタートが7時半です。奮ってご参加頂きますようお願い致します。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。
初瀬ガバナー補佐の卓話、楽しみにしています。　佐藤尚宏君

◎本日は第14回例会です。初瀬ガバナー補佐の卓話楽しみに！また、昨日のゴルフコンペではメンバーとハンディに恵まれ、久々に優勝ができました。優勝賞品は特大タラバガニです。家族で美味しく頂きたいと思います。ありがとうございました。
橋本　勝君

◎ゴルフコンペ、お疲れ様でした。橋本幹事、優勝おめでとう！
初瀬ガバナー補佐の卓話、楽しみです。　中原喜範君

◎親睦委員会の皆様、昨日のゴルフコンペ誠にありがとうございました。帰宅して賞品をあけたら、家族中「ワーッ」と大声でした。
鈴木淳策君

◎昨日のコンペ、数字のマジックでB・B賞になりました。B・M賞の方に申し訳なし。　平松敏郎君

◎初瀬さんの卓話、初瀬さんの人柄そのもののタイトルにシビれます。
湯浅大郎君

◎初瀬さんの卓話を楽しみにして参りました。勉強させて頂きます。
遠藤友紀晴君

◎初瀬さんのお話しに。　菅野秀士君

◎初瀬さん、本日の卓話宜しくお願い致します。楽しみにしておりました！　山口　仁君

◎遠藤友紀晴さん、酒井良胤さん、バザーの賞品ありがとうございました。皆さんのこちらで取りに行きますので、連絡下さい。
初瀬照夫君

プログラム紹介

山口　仁 委員長

先週の例会で厳密な時間管理ができておらず、皆様に大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。

本日は中央分区ガバナー補佐の初瀬照夫さんにお願いをしております。私も毎回卓話をお聞かせ頂いて新たな発見があって、本日も非常に楽しみにしております。

会員卓話

「みんながよくなって初めて自分がよくなる。自分はあとなんだ。」

初瀬電材㈱
代表取締役社長　初瀬照夫君

一番初めに、「年次計画書に定款細則を載せる」という提案です。郡山RCだけ、年次計画書に定款細則が載っていません。第3条のクラブの目的「クラブの目的は、ロータリーの目的の達成を目指すこと」これが新しくなったんです。第3条の目的はパーポスで、第5条はオブジェクトです。英文は違うが日本語は同じですよ、ということが書かれてますので、この辺も明記すべきではないかなと思います。

郡山RCの役員と理事は大変分かりにくくなっていますので、それを分けたらどうかなと思います。副幹事と副S・A・Aが入っているのは郡山だけです。親睦活動委員長とプログラム委員長を理事にしたらどうかなと思います。細則で何人理事だというのは変えることができますね。公共イメージ委員会というのは地区にあるんですけど、公共イメージ委員会に行くのに誰を派遣するかというと、郡山にはこの委員会がないんですよね。ですから公共イメージ委員会というのを作って、その下にIT・雑誌・広報・会報を入れたらどうかなと思いました。

ポール・ハリスの語録ですが「私達の生きる目標は学ぶ事。学ばなければならない唯一のことは、どうすれば自己にとらわれないようになるかということ」と、はっきり書いてあるんですね。みんな自分の車、自分の家、自分の家族、自分のことばかり考えているでしょう。だからうまく行かないんですね。ですからまず始めに自分以外のことを考えるようになると、世の中がうまくいくんだということをこの前友紀晴さんが言っていました。

100年前に2334決議が出ました。「ロータリーは個人です。団体で行動しては駄目です」と書いてあります。郡山RCはそれが一番肝心なところだと言っています。でもやっぱり多様性とか寛容、そういうのを見たらある程度は社会奉仕もするべきではないかなと私は思います。根本は個人だということです。それをわきまえて奉仕活動をしていくということが一番大事だと思います。それから物やお金をあげることが奉仕ではないんだということがあります。それを知って、そして米山や財団に寄付をするという、表と裏の関係ですね。そういうのも私は大事なんじゃないかと思います。

今年のジェニファー RI会長は「クラブ奉仕のできない人に社会奉仕などはできるわけがない」と言っています。一番大事なのはクラブ奉仕です。その奉仕の優しさや思いやりを身につける、例会を通して身につけていくというのが私達の目標だと思います。「みんながよくなって初めて自分がよくなる。自分はあとなんだ。」。こういう気持ちでやっていれば、何事もうまく行くと思います。私はロータリーはお米研ぎだと思っています。お米は私たちです。かき混ぜるのは私たちの目標であり象徴である会長です。それからクラブのルール、先輩。私たちは研ぎ澄まされて綺麗になっていくということです。お米の研ぎ方は、水の中に米を入れるというんですね。ですからロータリーという水の中に入れる、優しさや思いやりを身につける方法ですね。そしてロータリーの水の中にお米を入れる、自分達が入っていくという考え方はいかがでしょうか。私たちの最大の関心事は、自分の事業の発展ですね。どのような人間になったら事業が発展・繁栄するかを、実はロータリーは教えてくれています。ロータリーは道徳運動です。ロータリーは謙虚・寛容・品格、ある意味ではセンスと言ってもいいと思います。そういうところを身につける場所です。寛容は価値観の違いを我慢する力、世の中は思い通りにいかないですから耐える力が必要です。会社の新入社員は金が貯まらないと言います。金が貯まる方法とは2500年前の古代バビロンでは「稼いだお金の1/10を貯金しなさい」ということです。これは複利で面白いように貯まっていきます。新入社員にはこういうことを教える必要があると思います。ロータリーの新会員にはサービスを身につけること、思いやりや優しさを身につける、これが正しく奉仕の理念です。

ロータリーの目的は「意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には次の各項を奨励することにある：」とコロンで終っています。他はみんな；なんです。：はシーソーの支点です。ですから序文にロータリーの目的の全てが書かれてあるということです。奉仕の理念を奨励して育むこと、思いやりを事業を通じて広めていくこと、これが正しくロータリーの目的であると私は思っています。日本の仏教の考え方の中に、「物やお金を与えることが奉仕ではない」という思想があります。優しい眼差し、優しい表情、優しい言葉、こういうことが大事だということです。褒めるということは人や物の価値を発見することであり、人間は人が喜んでくれると嬉しいということです。

「義を持って集まり、信を持って結び、切磋琢磨し、合い助け、合い益す」これがロータリーの目的です。それからロータリーに仕事を持ち込まないこと。知り合いだからと行って営業に行ったりするのはまずいですよとロータリーでは言われています。「奉仕する者は行動しなければいけない」。私は優しい気持ちがあるなら言葉にしなさい、優しい気持ちがあるなら行動に表しなさいと考えています。

出席報告

有賀隆宏 委員長

総員／102名　出席／47名　欠席／55名
出席率／46.08%　前回修正率／62.64%
他クラブ出席／10名

次回 第16回例会
令和4年11月13日㈭
第2530地区大会
喜多方プラザ文化センター

山口タクシーグループ
郡山観光運輸㈱
代表取締役　山　口　松之進
〒963-8025　郡山市安積町二丁目 6-1
☎ 945-0700　FAX 947-5666

㈱横山鋼業
代表取締役　横　山　　大
〒963-0724　郡山市田村町上行合字下川原 84-1
☎ 944-9825　FAX 943-2457

会報第14号(通算3391号)2022.10.27発行　/　編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起